

自己点検・評価結果
(平成28年度)

平成28年度自己点検・自己評価について、下記の通り実施した。

実施日時 :平成29年3月10日(金) 13:30~15:00
 実施場所 :中央工科デザイン専門学校3号館
 点検評価者 :五十部昌克(中央工科デザイン専門学校副校長)
 齋藤義之(中央工科デザイン専門学校 課長)
 柴田智宏(中央工科デザイン専門学校 教務事務)
 笠原文男(中央カレッジグループ 教育本部副本部長)
 金田行正(中央カレッジグループ 就職指導センター所長)

自己点検・評価項目の記号については以下の通りとする。

評価項目について

○:各評価項目について基準レベル以上に実施されている

×:各評価項目について基準レベルに達していない又は未実施である(改善項目)

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標		評価	
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化(文章等にまとめ他者が確認できる状態)しているか。 上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか	1	【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等)	○
	2	【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等)	○
	3	【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP、パンフレット、募集要項等)	○
	4	【学内】各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、提示されているか。	○
	5	【学外】各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、公表されているか。(提示を公表へ修正)	×
改善項目 (各校判断)	5.修業期間における教育目的や目標はシラバスにて文書化されているが、それをホームページ等で公開することはまだできていない。しかし、次年度用に制作しているホームページには反映できるよう進めている。併せて年間行事スケジュールも公開するようにする。 シラバスを冊子にして配布しているが、十分な活用がされていない。新しいホームページを公開した際には、シラバスのデータをホームページから見られるようにしていきたい。休講や学生への周知事項についても、ホームページやメールを活用したい。		

自己点検・評価結果
(平成28年度)

2 教育の内容			評価	
各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラム作成などの取り組みがされているか。	1	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか	○	
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	○	
	3	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員を入れているか	○	
	4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているか	○	
	5	シラバスあるいは講義要項などが作成されているか	○	
	6	各科目1コマの授業についてその授業シラバスが作成されているか	×	前回・前々回×
	7	各教員からカリキュラム・シラバスが提出され取りまとめられているか	○	
	8	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	○	
各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラム作成などの取り組みがされているか。	9	学生によるアンケートなどによる授業評価が定期的に行われているか	○	
	10	結果に基づく教員面接を実施しているか	○	
	11	結果に基づく研修を行っているか	○	
	12	結果に基づく授業参観を行っているか	○	前回・前々回×
	13	結果に基づく教員のレポート報告書、改善計画書等が作成されているか	○	
	14	その評価結果をもとに改善活動をしているか	○	
	15	授業改善のための組織的取組が行われているか(授業改善委員会)	○	
各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか。	16	企業・施設等での職場実習があるか	○	
	17	キャリア教育などを行っているか	○	
	18	ビジネス教育を行っているか	○	
	19	コミュニケーション能力向上に向けた取り組みを行っているか	○	
	20	リメディアル教育を行っているか	○	
	21	他の高等教育機関との連携講座などを行っているか	○	
	22	企業・地域・行政との連携を図っているか	○	
各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取り組みがされているか。	23	教員の研修計画が作成されているか(教員に変更)	○	
	24	専門性や指導能力等の把握や、評価、維持、向上のための内部研修・研究を行っているか	○	
	25	専門性や指導力などの維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか	○	
	26	専門性や指導力などの維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか	○	
	27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか	○	
改善項目 (各校判断)	6. 現時点ではコマシラバスの作成はできていないが、次年度に向けてコマシラバスの準備を進めている。 12. 職員同士の授業見学を始めた。 20. 次年度、テクニカルエンジニア学科で「数学」を取り入れる。 27. 次年度は前・後期で講師交流会を実施したい。今年度は3号館・4号館で職員室が分かれたこともあり、コミュニケーションが薄くなったと感じる。			

自己点検・評価結果
(平成28年度)

3 教育の実施体制			評価	
各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか。	1	組織機能図があるか。	○	
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	○	
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	○	
	4	学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。	○	
	5	就職支援を行う指定された場所があるか。	○	
	6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	○	
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	○	
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	○	
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理、チェックがされているか。	○	
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	○	
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	○	
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	○	
	13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	○	
改善項目 (各校判断)	3. 8月に図書室を整えることができた。今後は、学生に利用してもらえるよう、職員からの寄贈等を募り、所蔵図書の種類を増やしていきたい。			

自己点検・評価結果
(平成28年度)

4 教育目標の達成度と教育効果			評価	
各学科の教育目標、育成人財像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか	1	学生の就職に関する目標を設定したか。	○	
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されていたか。	○	
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	○	
	4	学生の就職結果に関して、検証・報告がされたか。	○	
	5	対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット、HP)。	○	
	6	学生毎の記録簿が作成され、個々に対する能力(評価・成績)に対して目標を都度設定しているか。	○	
	7	評価・成績に関する目標に対して教職員に共有されているか。	○	
	8	評価表・成績表など客観的判断のできる記録がなされているか。	○	
	9	評価・成績に関して検証・報告がされているか。	○	
	10	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	○	
	11	資格・検定・コンペにに対する目標・計画が教職員に共有されているか。	○	
	12	資格・検定・コンペの結果に関して検証・報告がされたか。	×	前回・前々回×
	13	資格・検定・コンペの結果を公表しているか。	○	
	14	卒業率の目標を設定しているか。	○	
	15	卒業率に関する目標・計画が教職員に共有されてるか。	○	
	16	卒業者数の結果に関して検証・報告がされたか。	○	
	17	卒業率を公表しているか。	○	
	18	卒業生の進路・就職先等の記録がなされているか。	○	
	19	卒業生の進路・就職先を公表しているか。	○	
	20	卒業生の1年後の就業状況を把握しているか。	○	
	21	卒業生の1年後の就業状況を公表しているか。	×	前回・前々回×
改善項目 (各校判断)	<p>12. 今年度の実績が総じて良かったのか悪かったのかを数値化したコンテスト結果の資料作りを始めた。これをベースにして前年度分も作っていく。 コンテストだけでなく、学生作品の扱いは連動して考えていくことが必要。授業作品、コンテスト作品、部活動作品、産学連携作品、学園祭展示、卒業制作展示。今までは、制作した作品はそれぞれで完結していたが、良い作品はいろいろなところで活用した方が良い。 今年の卒業制作展は作品のボリュームが足りないように感じたので、卒展用に制作した作品だけでなく、ブース分けをしてコンテスト受賞、産学連携、授業などの作品を展示しても良いのでは。 また、学生の意識を高めるためにも、各イベントの実行委員は直前で決めるのではなく年度初めなどの早い段階で決めるのが良い。 卒業制作展に来るターゲット層をある程度意識した展示方法や、展示の目玉が必要である。 21. 卒業して1年が経過した平成26年度卒業生へ就業状況のアンケートを送付。回答率17%。アンケートの回答をメールにしたり、同窓会総会で案内することで、回答率を上げていきたい。就業状況の公開はできていない。</p>			

自己点検・評価結果
(平成28年度)

5 学生支援			評価	
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)。	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	○	
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペ等が明示されているか。	○	
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	○	
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	○	
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	○	
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	○	
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	○	
	8	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションが行われているか。	○	
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)。	9	担任による面談が定期的に行われているか。	○	
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	○	
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	○	
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	○	
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	○	
	14	学生の面談・相談記録があるか。	○	
	15	定期的に健康診断を行っているか。	○	
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	○	
	17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	○	
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)。	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	○	
	19	卒業生への職業紹介をしているか。	○	
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	○	
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	○	
	22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP, 学校便り等)	○	
上記以外を通じての学生支援	23	保護者の会(後援会等)はあるか。	○	
	24	企業の会(就職後援会等)はあるか。	○	
	25	学校情報を保護者に知らせているか。(HP, 学校便り等)	○	
	26	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	○	
	27	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	○	
改善項目 (各校判断)	特に問題点や懸案点は挙げなかった。			

自己点検・評価結果
(平成28年度)

6 社会的活動			評価	
意図的・計画的・組織的に社会活動への取組が推進されているか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。	○	
	2	地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしているか。	○	
	3	上記において定期的な会合に参加しているか。	○	
	4	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	○	
	5	社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を評価・単位認定をしているか。	×	前回・前々回×
	6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	○	
改善項目 (各校判断)	5. 地域貢献のため、パソコン講座や地域清掃は行っている。単位認定はできないが、評価として成績表の突起欄にコメント入力できるか検討したい。			

7 管理運営			評価	
学校の管理・運営体制が確立していること	1	理事会が定期的開催されているか。	○	
	2	評議員会が定期的開催されているか。	○	
	3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	○	
	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的開催されているか。	○	
	5	教職員それぞれの職務分掌が文書化されているか。	○	
	6	決裁規程が文書化されているか。	○	
	7	人事規程が文書化されているか。	○	
	8	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	○	
	9	防災・防犯対策に対して組織化されているか。	○	
	10	定期的に防災訓練を実施しているか。	○	
	11	個人情報保護規程が文書化されているか。	○	
	12	ハラスメントに関する規程が文書化されているか。	○	
	13	公印管理簿があるか。	○	
	14	受信・発信簿があるか。	○	
	15	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されているか。	○	
	16	教職員の健康診断がされているか。	○	
改善項目 (各校判断)	特に問題点や懸案点は挙がらなかった。			

自己点検・評価結果
(平成28年度)

8 財務			評価	
財務体質が健全であり、財務運営が適切に行われているか	1	年度予算、中期計画が策定されているか。	○	
	2	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的を確認しているか。	○	
	3	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	○	
	4	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか。	○	
	5	私立学校法における財務情報公開の体制整理はできているか。	○	
	6	固定資産管理規定が文書化されているか。	○	
	7	図書管理規定(養成施設等)が文書化されているか。	×	前回・前々回×
	8	物品(消耗品、貯蔵品等)等の在庫管理をしているか。	○	
	9	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	○	
	10	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	○	
改善項目 (各校判断)	7. 図書管理はできていない。学生が自由に活用できるよう、管理方法を検討している。			

9 改革・改善			評価	
各学科の教育目標、育人人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか。	1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	○	
	2	自己点検・評価の組織があるか。	○	
	3	評価・改善を行うための組織があるか。	○	
	4	自己点検・評価の必要性を教職員に伝える機会を設けたか。	○	
	5	自己点検・評価の結果を教職員で共有する機会を設けたか。	○	
	6	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか。	○	
	7	自己点検・評価の改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	○	
	8	自己点検・評価報告書があるか。	○	
	9	自己点検・評価報告書が公表されているか。	○	
改善項目 (各校判断)	5. 職員による自己点検項目のチェックと、教師アンケートの集計結果を加味して、点検を行う必要がある。自己点検のガイドラインに沿った評価をしていくことで、点検の質を高めていくことが必要である。			